

被虐待児受入加算対象児童調書

施設名

児童名	生年月日 年 月 日(年齢 歳)
入所年月日 年 月 日	措置 児童相談所

虐待経験を疑った理由(子ども、保護者の話、行動、態度などきっかけについて具体的に記述)

[子ども・保護者・親戚・関係者・その他]

医師による所見(虐待経験を疑う内容)

記載年月日 年 月 日	入所後 月	医師名
----------------	----------	-----

-----以下児童相談所で記入-----

評価

上記児童に対する児童相談所長の意見	年 月 日
ア 施設入所段階から加算の対象と認める。 イ 施設入所後(年 月 日)から加算の対象と認める。 <p style="text-align: right;">児童相談所長</p>	

行動観察の内容(該当する項目についてチェックし、その時の状況と対応が記載された記録の写しを添付すること)

《入所前の状況》

- 家に一人で(または子どもたちだけで)過ごすことが多い
- 食事が規則正しく提供されていない
- 衛生管理(入浴、着替えなど)が十分になされていない
- 不登校や引きこもりの状態が長く続いていた
- 身長、体重など発育に大きな遅れがみられる

《入所後の状況》

- 親の面会後に怒りやイライラの表出、あるいはふさぎ込むなど情緒的に不安定な状態になる
- 思い通りにいかない時に、激しい攻撃的言動や破壊的行為がみられる
- 衝動性が高く、自分の気持ちをコントロールできない
- 職員に対する暴言や反抗的態度が顕著にみられる
- 些細な刺激に対して過剰な防衛的もしくは攻撃的反応が見られる
- 年齢に応じた基本的な生活習慣が確立されていない
- 知的能力の発達に比して言葉の遅れが顕著である
- 対人関係に問題があり、他の子どもから孤立する傾向がある
- 男性職員への不信感や拒否感が顕著である
- 職員への挑発的な言動があり、大人からの怒りを引き出す傾向が顕著である
- 年齢に比して不適切な性的言動が顕著である
- 自傷行為(セルフカット、頭打ち行動など)がある
- 些細なことで激しい怒りを持ち、激しい攻撃的行動や破壊的行動力が見られる
- 夜驚や夜泣きが顕著である
- 初めて会った大人にでさえベタベタとまとわり付くような、無差別的変質行動が見られる

被虐待児受入加算対象児童調書(乳幼児用)

施設名

児童名	生年月日 年 月 日(年齢 歳)
入所年月日 年 月 日	措置 児童相談所

虐待経験を疑った理由(子ども、保護者の話、行動、態度などきっかけについて具体的に記述)

[子ども・保護者・親戚・関係者・その他]

医師による所見(虐待経験を疑う内容)

記載年月日	年 月 日	入所後	月	医師名

-----以下児童相談所で記入-----

評価

上記児童に対する児童相談所長の意見	年 月 日
ア 施設入所段階から加算の対象と認める。 イ 施設入所後(年 月 日)から加算の対象と認める。 <div style="text-align: right;">児童相談所長</div>	

行動観察の内容(該当する項目についてチェックし、その時の状況と対応が記載された記録の写しを添付すること)

《入所前の状況》

- 家に一人で(または子どもたちだけで)すごすことが多い
- 食事が規則正しく提供されていない
- 衛生管理(入浴、着替えなど)が十分になされていない
- 慢性的な疾病を有している
- 何らかの障害が疑われている

《入所時およびその後の児童の状況》…保育士、看護師、心理士などで判断

- 身長や体重が優位に低い、あるいは母子手帳の成長曲線で伸びが低下している
- 入所時に原因不明の傷、骨折の跡、その他の外傷の跡が認められる
- 衛生状態が悪かったことを疑われるような皮膚の問題や多数の未処置の虫歯がある
- 原因不明の発達の遅れ(運動、言葉、など)が認められる
- 寝る時間や起きる時間のリズムが一定でなかったり、食事にムラがある
- 過食や拒食などの食行動の問題がある
- 夜驚や激しい夜泣きがある
- 表情が乏しい、もしくは、笑顔が少ない
- 視線を合わせない、もしくは、大人が笑いかけても反応が少ない
- 新しい場面になかなか慣れない
- 壁や床に頭を打ち付ける
- 同月例の子どもに比べて、行動が著しく少ないか、行動が止まってしまうことが多い
- 泣き出すと止まらない、あるいは、一度機嫌が悪くなるとなかなか戻らない
- 気に入らないとすぐ激しいかんしゃくを起こす
- 動きが激しく、しょっちゅう怪我をする
- 人が近づいたり、肌に触れようとする、びくっとする、もしくは拒否する
- やや大きい音やその他の特定の刺激にびくっとしたり、ポーっとしてしまうことが多い
- 同月例の子どもに比べて、目的のない動きが多く、落ち着きがない
- 怖いことがあっても大人に助けを求めないで一人で固まることが多い
- 職員に対して攻撃的である
- ほかの子どもに対して怒りや攻撃性が強い
- 行動パターンが突然予兆なく変わる傾向が強かったり、良い時と悪い時の差が非常に激しい(別人のようになるなど)
- 特定の大人と深く繋がった関係が築けない
- 他の子ども達と関われない
- 誰にでもべたべたする

《保護者との関係》

- 保護者を特別な人と認識していない(保護者が来ても気づかなかったり、喜ばずに無視したりする)
- 保護者を見ると怯える、もしくは拒否的な行動(近づくと避けるなど)をとる
- 一見楽しく遊んでいるが、保護者が近づくとびくっとする
- 保護者の顔色を伺ったり、保護者をケアする行動が多い
- 保護者といると非常に不安定に見える、もしくはどう行動して良いかわからないように見える
- 保護者が帰る時に全く後追いない
- 保護者が帰る時、求めているような、離れたいような、混乱した行動をとる

保護者との面接や外泊の後、表情が悪くなったり、行動の問題が起きることが多い